

6つの分野別に重点・新規事業を紹介

活力あるまちづくり市民と協働しながら



好評だった昨年の第1回マンドリンフェスティバル

| 「豊かな心を育む教育・文化の充実したまちづくり」主な事業 | |
|---|------------------------|
| ○は新規事業 | |
| ①豊かな人間性を培う社会教育の推進 | |
| ○中央公民館移転 (旧リヴィン3階～5階) | 18億8,180万円 |
| ○子ども図書館の整備 (旧リヴィン2階に新設) 元総社公民館移転新築 (平成19年度10月開館予定) | 4億6,239万円 2億3,763万円 |
| ○夏休み子ども支援事業 (児童文化センター全日開館、小学校内での子ども居場所づくり) | 175万円 |
| ②考える力を育む学校教育の推進 | |
| ○教育アドバイザーの設置 (教員OBなどによる教職員への助言・指導の実施) | 106万円 |
| ○心の相談・ハートケア事業 (児童の悩み相談受付箱を全小学校の学級・保健室などに設置) | 100万円 |
| 小学校校舎・体育館などの改築 (東小校舎増築、七中移転新築など) | 21億2,323万円 |
| 前橋工科大整備事業 (管理・講義棟の新築工事など) | 13億5,283万円 |
| ③元気づくりのスポーツ・地域文化の振興 | |
| 前橋シティマラソン開催 | 1,340万円 |
| 第2回マンドリンフェスティバル (マンドリン全国コンクール・まちなかコンサートの実施) | 300万円 |

| 「市民と協働するまちづくり」主な事業 | |
|--|---------|
| ○は新規事業 | |
| ①市民力・地域力を活かしたまちづくりの推進 | |
| 地域づくり推進事業 (新規5地区を含む10地区への活動支援) | 500万円 |
| 市民活動支援センターの旧リヴィン移転 (移転後は民間に運営委託) | 6,685万円 |
| ○農地・水・農村環境保全 (農業用水路保全などの共同活動に取り組む集落12地区へ支援) | 685万円 |
| 宮城支所建設事業 (基本・実施設計など) | 7,000万円 |
| ②情報通信技術を活かした安全で利便性の高い環境づくり | |
| ○情報システム最適化推進事業 (住民基本台帳システムなどの基幹情報システム見直し) | 4,620万円 |
| まえばし市民ネットワークシステムの運営 (住民参加による地域SNS運営) | 250万円 |

| 「地域資源を活かした活力のあるまちづくり」主な事業 | |
|---|------------|
| ○は新規事業 | |
| ①活気のある産業の振興と育成 | |
| 企業誘致促進 | 1億8,300万円 |
| 品目横断的経営安定対策 (農業の担い手支援、農地基本台帳の整備など) | 7,947万円 |
| ○家畜飼料生産対策事業 (家畜飼料の生産性向上、作業効率化のための農機具など導入支援) | 1,000万円 |
| ②雇用の促進と労働環境の整備 | |
| ファミリー・サポート・センターの運営 | 812万円 |
| ③活力あるにぎわい空間の形成 | |
| 中心市街地再生(旧リヴィン活用)推進 (市民プラザ、こども交流プラザ、商業テナント、専門学校などの開所) | 27億9,119万円 |
| 熱血店舗開店支援(空洞化対策) (大型空き店舗を含む改装費・家賃の支援) | 3,189万円 |
| ④地域の魅力を活かした観光振興 | |
| ○JR前橋駅観光物産案内所設置事業 (駅高架下に観光案内・物産提供施設などを新設) | 1,000万円 |
| 「TONTONのまち前橋」普及宣伝 | 100万円 |
| (前橋の食の名物・豚肉料理をPR) | |

限られた財源を有効に使うため

行財政改革を進めます

限られた財源を有効に使うため、これからはますます行財政改革を進めていかなくてはなりません。ここでは、その主な具体的取り組みについて、歳入・歳出の両面から、お知らせします。なお、歳入の金額は増収額、歳出の金額は削減額です。

歳入関係

□市税滞納額の縮減
市税滞納額を減らすため、差し押さえ不動産の公売や動産のインターネット公売を推

進めます。

□広告収入の確保・拡充
広報紙などに有料広告を掲載します(千百六十一万円)。

□清掃工場の熱エネルギー利用・資源化の促進
清掃工場で発生した熱エネルギーで発電し、電力を売却。また、回収したペットボトルや瓶・缶を売却して再資源化も図ります(一億千八百七

万円)。

歳出関係

□職員の削減
正規職員に加え嘱託職員の人

数も減らし、人件費を削減します(三億二千七百四十万円)。

□学校施設の効率的活用
桂萱中プールの建て替えを見直し、隣接の桂萱小との共同利用による効率化を図ります(一億千円)。

□建設資材の見直し
建設資材の市場価格調査を行い、公共工事のコスト削減を図ります(二億六千四百万円)。

□建設資材の見直し
建設資材の市場価格調査を行い、公共工事のコスト削減を図ります(二億六千四百万円)。

福祉・土木・教育関係をはじめとした事業を行う一般会計の借入金残高は、十五年度からの四年間で、九十四億六千万円を縮減できる見込みです。

次の世代へ負担を先送りしないように

市全体の借入金を着実に縮減

| 市全体の借入金残高の状況 | | | | | | | |
|--------------|--------------|----------|---------|---------|------------|-------------|-----------------|
| (単位 億円) | | | | | | | |
| 区分 | 会計 | 15年度末残高② | 16年度末残高 | 17年度末残高 | 18年度末残高見込み | 19年度末残高見込み① | 15年度末との比較増減額①-② |
| 前橋市 | 一般会計 | 1,465.2 | 1,425.3 | 1,398.6 | 1,380.7 | 1,370.6 | ▲94.6 |
| | 農業集落排水事業特別会計 | 38.8 | 41.4 | 43.3 | 45.5 | 48.7 | 9.9 |
| | 競輪特別会計 | 12.4 | 11.6 | 10.8 | 9.9 | 9.0 | ▲3.4 |
| | 水道事業会計 | 238.3 | 233.2 | 227.6 | 222.7 | 220.9 | ▲17.4 |
| | 下水道事業会計 | 528.1 | 522.6 | 514.8 | 507.5 | 500.6 | ▲27.5 |
| | 小計 | 2,282.8 | 2,234.1 | 2,195.1 | 2,166.3 | 2,149.8 | ▲133.0 |
| 市の関連団体 | 市土地開発公社 | 180.7 | 153.8 | 137.2 | 129.7 | 125.3 | ▲55.4 |
| | 前橋工業団地造成組合 | 193.0 | 173.3 | 172.9 | 149.5 | 154.3 | ▲38.7 |
| | グリーンドーム前橋 | 22.3 | 13.8 | 9.5 | 6.7 | 4.4 | ▲17.9 |
| | 小計 | 396.0 | 340.9 | 319.6 | 285.9 | 284.0 | ▲112.0 |
| | 合計 | 2,678.8 | 2,575.0 | 2,514.7 | 2,452.2 | 2,433.8 | ▲245.0 |

・15年度分から合併町村分を含んだ残高で15年度～17年度は決算額、18年度～19年度は見込み額です。
・グリーンドーム前橋の借入金はグリーンドームとドームパークの建設によるもので22年度に償還終了。
・市土地開発公社は短期借入金残高、前橋工業団地造成組合は短期借入金残高を含みます。

また、十九年度末の特別会計や市関連団体を含めた全体の債務残高は二千四百三十三億八千万円。十五年度末から

の四年間で、二百四十五億円を縮減できる見込みです。今後も、借入金残高の縮減をさらに進め、健全な財政運営を行うよう努めていきます。